

令和8年度 教科 道徳 第1学年 評価規準

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
4月③	1 ともだち 「高め合う友情の尊さ」 【B 友情、信頼】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>「友達」に対するイメージや友達がいることのよさ、友達との関係から得られると思うことなどについて、他の人の意見にふれながら考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>「友達」という存在に対するイメージを描いたり、今後、友達とどのように接していくべきかを考えたりする際に、具体的な学校生活の場面を想起しながら考えている。</p>
	2 おはよう 「心と形」 【B 礼儀】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>挨拶を単なる言葉と捉えず、形にこめられた価値や、相手を思う心を、日常の様々なことから考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>挨拶について自分なりに考え、礼儀の大切さに気づき、これからとるべき態度について、自分自身との関わりの中で考えを深めている。</p>
5月③	3 「どうせ無理」をなくしたい 「夢や目標を諦めない」 【A 希望と勇気、克己と強い意志】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>より高い目標をもってその達成をみざすことの大切さについて、植松さんの生き方や心情を理解しながら他の人と意見を交流し、考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>夢や目標を達成するためには、諦めない心が大切であることを植松さんの生き方から学び、希望と勇気をもってやり遂げようとする意欲を高めている。</p>
5月③	4 二人の言い分 「相手の立場に立って」 【B 相互理解、寛容】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>ハルトとリョウマそれぞれの立場に立ち、どうすればこのトラブルを回避できたかを考えることで、捉え方や感じ方は人によって違うことに気づき、相手の立場に立った言動をとろうとする意欲を高めている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>いじめを誰にでも起こりうる問題として捉え、いじめを生まないために必要な、互いを理解し寛容に受け止めようとする姿勢の大切さについて考えを深めている。</p>
	5 あなたならどうしますか 「いじめをなくすために」 【C 公正、公平、社会正義】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>いじめをなくすための行動や、その際に大切にすべきことについて、正人や葉月の立場を自分に置きかえたり、被害者の気持ちを想像したりしながら、考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>差別や偏見のないよりよい社会の実現のために、自分なりにできることを考え出し、大切にすべき心情や態度について、考えを深めている。</p>
6月④	6 いのちを考える 「生命の重さ」 【D 生命の尊さ】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>自他の生命を大切にすることについて、多様な価値観を受け止めながら、多面的・多角的に考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>自分の身のまわりの生き物の生命について改めて考え、様々な意見を受け入れながら、生命の尊さについて考えを深め、支え合い生かされていることへの感謝の思いを深めている。</p>
	7 自分で決める 「自由と責任」 【A 自主、自律、自由と責任】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>自らを律し自らの行為の結果に責任をもつために必要なことについて、他の人の意見を理解しながら考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>自分の意志に基づく判断によって生じた義務を、忠実に果たすために必要なことについて、自らの経験や今後の生活と重ねて考えている。</p>
6月④	8 ごめんね、おばあちゃん 「家族の一員として」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>家族の一員としての自覚をもち、家族の中での自分の役割について他の人と意見を交流しながら考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>「僕」の心情の変化を共感的に捉え、家族の一員として大切にすべきことについて自らの経験と重ねて考え、父母や祖父母に対する敬愛の念を深めている。</p>

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
7月②	9 難民とともに ～緒方貞子～ 「世界の人々のために」 【C 国際理解、国際貢献】	<p>【多面的・多角的に考える】 国際的視野に立つて難民の現状や世界の情勢に目を向け、世界の平和を望み、自分にはどのようなことができるか、多面的・多角的に考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】 緒方さんが大切にしたい思いを共感的に捉えながら、緒方さんが私たちに伝えたいことは何かを考えることを通して、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする思いを深めている。</p>
	10 ヤクーバとライオン 「気高く生きようとする心」 【D よりよく生きる喜び】	<p>【多面的・多角的に考える】 「勇気」とは「怖がらずに相手を倒すこと」という一面的な捉えから、「今は他から理解されなくても、自分に恥じない行動をとる気高い精神」と見方を広げ、価値の本質、よりよく生きることについて深く考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】 ヤクーバの立場だったらどう判断するかを考え、これまでに自分の弱さに流されたことや自分の納得する道を選択した経験を振り返りながら、これからの生き方に思いをめぐらせている。</p>
9月③	11 裏庭のできごと 「誠実な生き方」 【A 自主、自律、自由と責任】	<p>【多面的・多角的に考える】 誠実に行動し自らの行為の結果に責任をもつことの大切さについて、3人の登場人物の心情を理解しながら考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】 誠実に生きるために大事にすべきことについて、健二の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。</p>
9月③	12 ルールとマナー 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	<p>【多面的・多角的に考える】 投稿の問題点を「ルール」「マナー」の視点や様々な立場から考えることで、ルールとマナーの多面性や必要性について、考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】 投稿の問題点を探り出し、自らの経験と重ねながら、自他の権利を大切にしつつ社会の秩序と規律を高めていくことについて考えを深めている。</p>
	13 一日前に戻れるとしたら 「安全への配慮」 【A 節度、節制】	<p>【多面的・多角的に考える】 安全に配慮して生活するために必要なことについて、他の人の意見を理解しながら考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】 身近な危険を振り返りながら、安全に配慮するというプロセスの中にある価値について、自らの経験や今後と重ねて考えている。</p>
10月④	14 オリンピックの土俵をみざして 「自分らしく生きる」 【A 向上心、個性の伸長】	<p>【多面的・多角的に考える】 好きなことを続けるために前向きに道を切りひらく今さんの言葉や生き方から、自分のよさを伸ばし夢に近づくために大切なことについて多面的・多角的に考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】 今さんの言葉や生き方を通して、多様な生き方・考え方があることに気づき、自分の個性を伸ばし自分らしく生きていくためにどうしようと思うか考えを深めている。</p>
	15 けやき中を誇りに 「学校に誇りをもつ」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	<p>【多面的・多角的に考える】 学校生活を充実したものにするために必要なことについて、登場人物の心情を理解しながら様々な立場に立ち、考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】 先輩たちの伝統を受け継ぎ、クラスや学校の一員としての自覚をもって協力し合うことの大切さについて、「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。</p>
10月④	16 不自然な独り言 「思いやりの心」 【B 思いやり、感謝】	<p>【多面的・多角的に考える】 思いやりの気持ちをもち伝えようとすることの大切さについて、「僕」の心情や、自身の考え、他の人の考えを照らし合わせながら考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】 親切をされる人の立場に思いをさせ、「思いやり」の気持ちを伝えるときに大切にしたいことについて、自分なりに考えを深めている。</p>
	17 ショートパンツ初体験 in アメリカ 「個性を表現すること、受け入れること」 【B 相互理解、寛容】	<p>【多面的・多角的に考える】 「個性を表現する側」「個性を受け入れる側」など様々な視点から、心の壁を作らないようにするためにできることについて考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】 個性や立場を尊重すること、いろいろなものの見方や考え方があることについて、「私」の経験と自らの経験を重ねながら考えを深めている。</p>

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
11月④	18 「ちがい」について 考えよう 「尊重されるべきちがい、あってはならないちがい」 【C 公正、公平、社会正義】	【多面的・多角的に考える】 「あつてよいちがい」と「あつてはならないちがい」を判断する際、本当に幸福な社会をつくるために、みんなにとってどうか、今だけでなく未来はどうか、立場や時を変えて考えている。 【自分ごととして考える】 様々な「ちがい」について、思いこみにとらわれることなく、自分の家庭や所属する集団を振り返ったり、自分がこれからできる行動に思いをめぐらせたりしながら、考えを深めている。
	19 選ぶということ 「学校や社会の一員として」 【C 社会参画、公共の精神】	【多面的・多角的に考える】 候補者の演説をもとに様々な選ぶ基準について話し合い、選ぶということについて多面的・多角的に考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分の選択や投票行動が及ぼす影響について考え、積極的に社会に関わろうとする意欲を高めている。
11月④	20 全ての人に安心、安全な水を 「新しいものをつくり出す」 【A 真理の探究、創造】	【多面的・多角的に考える】 小田さんの「誰かのために何かをしたい」という思いや、想像力をはたらかせながら探究し続ける姿を通して、新しいものを創造するために必要なことは何か、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 真理を探究し続けることの大切さや工夫して新しいものを創造していこうとする思いについて、困難に負けず研究を続けた小田さんの姿と自らの経験を重ねながら、考えを深めている。
12月③	21 レイ之助が望んだこと 「かけがえない命」 【D 生命の尊さ】	【多面的・多角的に考える】 命を大切にするととはどのようなことか、他者の意見を手がかりに自分の考えを広げようとする意欲をもち、様々な側面から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 レイ之助とともに生きる家族としての立場で、レイ之助にとっての幸せはなんだったのかを考え、飼い主の責任として何を優先させようと思うか、自分なりの考えを深めている。
	22 幸せな仕事って 「働くことの意味」 【C 勤労】	【多面的・多角的に考える】 自己実現、社会の一員としての役割、信頼や喜びを得るなどの様々な面から、働くことの意味について考えている。 【自分ごととして考える】 光太郎の気持ちを共感的に捉え、自分自身の進路や、将来の職業に対する不安や葛藤に対して、広い意見を受け入れて考えている。
	23 富士山を守っていくために 「豊かな自然を守る」 【D 自然愛護】	【多面的・多角的に考える】 富士山が世界文化遺産に登録されたことについて、その経緯や意義、人々のはたらきかけなど多面的・多角的に考え、人間が自然と関わることや自然を守ることの価値について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 富士山の自然が人々の努力によって守られていることへの気づきから、身近な自然に対して自分にできることは何か、能動的な姿勢で考えている。
1月③	24 伝えたい味 「郷土文化の継承」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	【多面的・多角的に考える】 郷土の伝統文化を守ることの大切さについて、「私」の感じ方や考え方を理解しながら考えている。 【自分ごととして考える】 地域社会の伝統文化を守っていくために必要なことについて、自らの生活や身のまわりの人たちとのつながりと重ねて考えている。
	25 雅司のとまどい 「友達のよいところ」 【B 友情、信頼】	【多面的・多角的に考える】 登場人物の立場に立ったり、自分の周りの友達関係を想起したりして、互いのよさを認め合う友情を築くために大切なことについて、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 互いの個性を肯定的に捉え、よさとして伝え合う活動を通して、互いを信頼し励まし合うことのよさを実感し、友情を築いていこうとする意欲を高めている。
2月④	26 それは個性 「自分の個性に自信をもつために」 【A 向上心、個性の伸長】	【多面的・多角的に考える】 ミズナの「変」を「すごい」「新鮮みがあってサイコー」と考えるクラスメイトの視点から、自他の個性を多面的・多角的に捉え、個性を伸ばすことについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 ミズナのクラスメイトの前向きな考え方に共感し、自他の個性をどのように捉え伸ばしていくか、肯定的に考えようとする意欲を高めている。

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
	27 よく生きること、 よく死ぬこと 「限りある命を生きる」 【D 生命の尊さ】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>生命には限りがあることを念頭におきながら「生まれてきたこと」「生きること」「死ぬこと」が自分にとってどのようなものなのか、「よく生きるため」「よく死ぬため」には何が必要なのか、考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>周囲への感謝をもって生きることの大切さやかけがえのない生命を大切に生きていこうとする態度について、ヨッチちゃんの姿と自らの経験を重ねながら考えを深めている。</p>
2 月 ④	28 私に宇宙のプレゼ ント 「生きることの喜び」 【D よりよく生きる喜び】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>「私」の「強く生きたい」「生きることがつらい」という葛藤を捉えながら、「私」、家族、臓器提供者などの多様な視点から、強く生きるために必要なことや生きる喜びについて考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>弱さを乗り越えること、強く生きようとする、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心について、病と闘う「私」の姿と自らの経験を重ねながら考えを深めている。</p>
3 月 ②	29 “庶民の笑い”を絶や さない ～落語家・桂米朝さんの 生涯～ 「日本の伝統と文化の継 承」 C 我が国の伝統と文化の 尊重、国を愛する態 度】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>米朝さんの努力を理解し、伝統や文化を継承することの大切さやその時に必要なことについて、多面的・多角的に考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>日本のよさを感じ伝えるために、自分がその担い手としてできることを、身近なことから考えている。</p>
	30 オーロラの向こう に 「人の力の及ばないもの」 【D 感動、畏敬の念】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>人間の力を超えた自然の厳しさと美しさについて、他の人の意見を理解しながら、より具体的に考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>自然と謙虚に向き合い、その中で自らの生活をより豊かなものにするために必要な姿勢について、自らの経験と重ねて考えている。</p>
補 充 教 材	31 古びた目覚まし時 計 「時間の価値」 【A 節度、節制】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>「心のベル」をもつことの大切さについて、他の人の考えと照らし合わせながら、考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>父から「僕」が聞いた話や「僕」が感じ取ったことを共感的に捉え、自らの生活習慣と重ねながら、望ましい生活について深く考えている。</p>
補 充 教 材	32 「夢」をつなぐ ～名古屋城本丸御殿の 復元に向けた思い～ 「郷土に対する誇り」 【C 郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>夢童さんの、本丸御殿復元に向けた思いと行動について多様な視点をもって考えるとともに、それを支え、守ろうとする人々の心情を理解し、「夢をつなぐ」ことについて考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>身近な地域や郷土のよさを再発見し、それを受け継ぎ発展させることの価値について、自らの体験や日常生活と重ねながら、未来に目を向けて深く考えている。</p>
	33 マンションの椅子 ～熊本地震の中で見つ けたもの～ 「思いやりの尊さ」 【B 思いやり、感謝】	<p>【多面的・多角的に考える】</p> <p>マンションの階段の近くに置かれた椅子にどんな名前をつけるか考えることを通して、この椅子がもつ様々な道徳的価値に気づき、他者を思いやる尊さやすばらしさについて思いを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】</p> <p>思いやりや感謝の心が人と人をつなぎ人を支えていることに気づき、そのようなことが身のまわりにないか、自らの経験を振り返って考え、自分ごととして捉えている。</p>

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
	<b>34 もったいない</b> 「感謝の心をもつ」 【B 思いやり、感謝】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 「もったいない」にこめられた様々な心を理解し、物的損失だけでなく、物にこめられた人の思いや時間などに対する感謝や敬愛の念について考えている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 「もったいない」ことを考えることを通してそれらがあることの「ありがたさ」に気づき、感謝の心をもって生きようとする意欲を高めている。
	<b>35 僕の応援歌</b> 「家族のきずな」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 愛情を注いだ有希子さんの気持ちを捉え、その愛情を受け取った嘉成さんの心情に思いをめぐらせながら、豊かな家庭生活に必要な諸要素について、様々な視点から考えている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 嘉成さんと有希子さんのつながりを分析的に捉え、自分と自分の家族との関係に重ね合わせることで、自分が受けた恩や、家庭生活において大切にすべき心情や態度について考えを深めている。

令和8年度 教科 道徳 第2学年 評価規準

額月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
4月③	1 お菓子、どうする？ 「みんなが納得できる ルール作りのために」 【C 遵法精神、公德心】	【多面的・多角的に考える】 一見理不尽にも見えるきまりにも意義があることに気づき、よりよいきまりのあり方について、級友の意見にふれ、自身の考えを深めている。 【自分ごととして考える】 学級目標の話し合いのプロセスなどを想起しながら、自分の問題として、よりよいきまりのあり方について自分なりの考えを深めている。
	2 まるごと好きです 「他者の個性を尊重する とは」 【B 相互理解、寛容】	【多面的・多角的に考える】 「まるごと好きになる」という考えについて、友達の意見を真剣に聞きながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 どうしても相手との違いを受け入れられない場合のつき合い方について、自らの経験と重ねて考えを深めている。
5月③	3 先輩 「自律した生き方」 【A 自主、自律、自由と責任】	【多面的・多角的に考える】 自律的に行動し自らの行為の結果に責任をもつことの大切さについて、「僕」「岡村」「一年生」のそれぞれの心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自律的に生きるために大事にすべきことについて、「僕」の気づきを捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。
5月③	4 あなたの声、心に届け 「誰もが自分らしく生きる ために」 【C 公正、公平、社会正義】	【多面的・多角的に考える】 自分がよかれと思って配慮した言動であっても、相手の尊厳を傷つけてしまう場合もあることに気づいている。 【自分ごととして考える】 「私」の主張から、姉・妹それぞれの思いに寄り添い、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現のために、まず自分から行動しようとする思いを膨らませている。
	5 最優秀 「個性や立場の尊重」 【B 相互理解、寛容】	【多面的・多角的に考える】 「私」、智美、詩織の思いを、それぞれの立場に立っただうえで、しっかり考えている。 【自分ごととして考える】 三人の思いを共感的に捉えたうえで、お互いの気持ちを尊重しながら生活するのに大切なことを自分に置きかえ、考えを深めている。
6月④	6 留学で考えさせられたお金 「自制心をもつ」 【A 節度、節制】	【多面的・多角的に考える】 お金とは何か、お金はなぜ必要なかと、お金の価値について、「私」の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「いきたお金の使い方」についての話し合いを通して、無駄づかいをせずに過ごそうとすることの大切さについて、「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。
	7 六千人の命のピザ 「真の国際人とは」 【C 国際理解、国際貢献】	【多面的・多角的に考える】 いかなる国の人々も同じ人間として尊重し、公正・公平に接する真の国際人のあり方について、多くの級友の意見にふれ、自身の考えを深めている。 【自分ごととして考える】 杉原千畝の生き方を通して、未来の自分の生き方について気持ちを膨らませている。
6月④	8 心のアンテナ 「あなたらしさとは」 【A 向上心、個性の伸長】	【多面的・多角的に考える】 「私」と「級友たち」、それぞれの気持ちについて話し合うことを通して、自他の個性を尊重する大切さに気づき、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分の個性を発見することが好循環となり、さらに自分の個性をいかした生き方につながっていることに気づいた発言をしている。
7月②	9 本当の友達って 「本当の友情とは」 【B 友情、信頼】	【多面的・多角的に考える】 本当の友達とはどういう存在なのかについて、悠太の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 悠太の葛藤を共感的に捉え、心から信頼できる友達と人間関係を築き、互いに高め合いながら成長することの大切さについて、自らの経験と重ねて考えを深めている。

額月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
	10 風に立つライオン 「気高く生きる」 【D よりよく生きる喜び】	【多面的・多角的に考える】 歌詞の中から、恋人への思いや「僕」の誇りある生き方について、いろいろな角度から考察してみることで、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「僕」の生き方を通して、自らの人生を前向きに生きようとする意欲を高めている。
9月③	11 分身ロボットでかなえたいこと 「新しいものを創造する」 【A 真理の探究、創造】	【多面的・多角的に考える】 吉藤さんの「ないなら、つくる」という発想で新しいものを創造する姿勢を通して、思いこみや先入観にとらわれることなく、物事を多面的・多角的な視点で見ようとしている。 【自分ごととして考える】 孤独のストレスに苦しむ人をなくしたいと分身ロボットを開発した吉藤さんの姿から、自分も得意な分野をいかして、なにか世の中の役に立つものがつくれないかを考えている。
9月③	12 SNS とどうつき合う？ 「安全で節度ある生活」 【A 節度、節制】	【多面的・多角的に考える】 節度を守り節制に心がけ、安全に生活するうえで、SNS とのつき合い方について、利便性と危険性を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「私」の立場に立ち、「私」の悩みを共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。
	13 あんパンとお礼状 「他者を敬う態度」 【B 礼儀】	【多面的・多角的に考える】 職場体験において、受け入れてくれた職場に対して尊敬や感謝の気持ちをもち、「僕」の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 社会のつながりの中で大切な礼儀について考え、「僕」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。
10月④	14 清掃はやさしさ 「仕事への向き合い方」 【C 勤労】	【多面的・多角的に考える】 自分の役割や仕事に対して、どのように向き合っていこうか様々な角度から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 将来の生き方について考えを深め、自分の仕事に誇りをもち勤労を通じて社会に貢献しようとするということについて、「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。
	15 夜の果物屋 「思いがけない心づかいへの感謝」 【B 思いやり、感謝】	【多面的・多角的に考える】 重荷にならないようにという配慮がなされた思いやり気づき、感謝の対象の広がりにも理解を深めている。 【自分ごととして考える】 本時の学びをいかして、今後、どのように感謝を伝えていきたいか、思いを膨らませている。
10月④	16 まだ食べられるのに 「持続可能な社会の実現」 【C 社会参画、公共の精神】	【多面的・多角的に考える】 やむをえない理由があれば捨てるもしかたないかという議論を通して、食品ロスの現状に対する考えを深めている。 【自分ごととして考える】 持続可能な社会の実現のために、食品ロスの視点から、自分の消費者としてのあり方を見つめ直そうとしている。
	17 「べつの道」へ～レイチェル＝カーソンのメッセージ～ 「自然愛護に努める」 【D 自然愛護】	【多面的・多角的に考える】 地球上の環境問題について、人間の都合、地球上の生物のこと、未来の子孫のことなど、様々な面から考えている。 【自分ごととして考える】 地球の環境問題は全人類の問題であることに気づき、「グリーンコンシューマー十原則」を参考に、他人任せにするのではなく、自分にできることは何か、深く考えている。
11月④	18 違反摘発 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	【多面的・多角的に考える】 法やきまりの意義について、両者の立場を踏まえうえて、その心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 法やきまりに対して自分がどう向き合っていくか、公德心に基づき、自分なりの考えを深めている。

額月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
	<b>19 心を鍛える</b> 「その失敗は、本当に失敗？」 【A 希望と勇氣、克己と強い意志】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 荒木香織さんの考え方にふれることで、事実は変わらないが、見方・考え方を変えることで、ピンチをエネルギーに変えることができることに改めて気づいている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 荒木香織さんの考え方を通して、希望と勇氣をもって困難な状況を乗り越え、目標を達成しようとする気持ちを膨らませている。
11月④	<b>20 狂言師・野村萬齋物語</b> 「伝統の継承、新しい文化の創造」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 「伝統の継承」「新しい文化の創造」の大切さについて、萬齋さんのそれぞれの年代での思いにふれ、自分の考えを深めている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 「伝統の継承」「新しい文化の創造」について、萬齋さんの葛藤を自らの経験と重ねて共感的に捉え、自分がこれからできることについて考えを深めている。
12月③	<b>21 わたしのせいじゃない</b> 「正義とはなんだろう？」 【C 公正、公平、社会正義】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 公正、公平に関する話し合いを通して、世界に視野を広げ、公正、公平な社会の実現のために自分にできることは何か考え、行動に移そうという意欲を高めている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 登場するクラスの一員なら自分とはどんな言動をするかについて考えることを通して、傍観者の責任に思いをめぐらせ、自分の問題として考えを深めている。
	<b>22 由紀のいら立ち</b> 「友情や信頼とは」 【B 友情、信頼】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 登場人物の心情について、考えられる可能性を言動から多角的に検討し、友人に対する注意の仕方については、様々な言い方や内容を検討しながら、話し合っている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 役割演技を行い、お互いに尊重しながら意見を言い合うことの大切さや難しさについて深く考えている。
	<b>23 飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ</b> 「家族の愛情」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 最後まで病気と闘い続ける井村さんを支えたものはなんであったのか、井村さんの心情を理解しながら考えを深めている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 家族の幸せについて考えを深め、家族の大切さについて、井村さんの葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。
1月③	<b>24 「金のおの」その後</b> 「誠実な生き方とは」 【A 自主、自律、自由と責任】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 三人の木こりのそれぞれの姿を比較しながら、誠実な生き方について、様々な角度から考えを深めている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 誠実な生き方について、自分の生活経験を振り返り、木こりの生き方と重ねて考えを深めている。
	<b>25 地下鉄で</b> 「思いやって行動する大切さ」 【B 思いやり、感謝】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 級友の演技を、共感しながら興味をもって視聴し、登場人物の立場による感じ方の違いを理解しながら、少女の行為の道徳的価値について考えを深めている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 教材を読んだ印象と、実際に演技をして味わう気持ちの違いを理解し、自分自身も思いやりを実践できる場やその方法を考え、実践意欲を高めている。

額月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
2月④	26 国境なき医師団・ 貫戸朋子 「命を大切にするとはい」 【D 生命の尊さ】	【多面的・多角的に考える】 目の前の命をただ助けることが医師の仕事ではなく、おかれた状況の中で、どのような判断をしていくことが、本当に命を大切にすることにつながるのかを考えることの重要性に気づいている。 【自分ごととして考える】 紛争地における特殊な事例として捉えるのではなく、身近なところにも命の大切さを考えるべき場面があることに気づき、日常生活の中で命の大切さをもっと意識していきたいという考えを深めている。
	27 たったひとつのた からの 「精いっぱい生きる」 【D 生命の尊さ】	【多面的・多角的に考える】 精いっぱい生きることの大切さについて、秋雪くんだけでなく、お母さんの心情も理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 命を尊重することとは、単に生きながらえることではなく、精いっぱい生きてこそ生命の尊重につながるものだという捉え、自らの経験を重ねて考えを深めている。
2月④	28 伝えるということ 「郷土の文化を継承する」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	【多面的・多角的に考える】 困難を乗り越えて地域の伝統文化を継承してきた人への尊敬の念や感謝の気持ちにまで考えを深めている。 【自分ごととして考える】 郷土の伝統文化を継承する意義について、「私」の生き方から学び、自分は今後、どのようにしていきたいか考えを膨らませている。
3月②	29 三年生を送る会 「先輩への敬愛」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	【多面的・多角的に考える】 学校行事において、学校の一員としての自覚をもち、自分の役割について、「僕」の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 学校の伝統を引き継ぎ、先輩がたに感謝の気持ちを伝え集団生活の充実に努めようとする大切さについて、「僕」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。
	30 ハッチを開けて、 知らない世界へ 「本物に触れる」 【D 感動、畏敬の念】	【多面的・多角的に考える】 宇宙のような壮大なところにだけ人の心に働きかけてくる大きな力があるのではなく、自分がこれまで触れてきた自然や芸術など日常の中にもそのような力があることに気づいている。 【自分ごととして考える】 本物に触れるすばらしさを改めて実感し、本物の自然や芸術などにもっと触れる機会を多くしていきたいという意識を高めている。
補充教材	31 五万回斬られた 男・福本清三 「誠実な生き方」 【A 向上心、個性の伸長】	【多面的・多角的に考える】 「生きがいのある充実した人生」について無名・有名の観点から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「生きがいのある充実した人生」について、今後の自分の生き方として志そうとする意欲を高めている。
補充教材	32 復旧にとどまらず、復興を ～後藤新平～ 「よりよい社会のために」 【C 社会参画、公共の精神】	【多面的・多角的に考える】 社会の役に立つとはどういうことか、話し合いを通して、より多くの友人と意見を交換し、考えを広げている。 【自分ごととして考える】 「住んでいる地域や学校をよりよくするためにできそうなこと」について自分なりに考えを深めている。

額月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
	<b>33 サッカーの種をまく</b> 「郷土のよさや強み」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 郷土の伝統を興した錦織校長の思いと、それを受けて支えた志太中第一回生の思いの双方から考えている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 郷土のよさや強み、伝統や文化について理解を深め、それを守っていこうとする意欲を高めている。
	<b>34 ドイツ・ヴリーツェンに眠る日本人医師</b> <b>～肥沼信次の生涯～</b> 「世界の中の日本人として」 【C 国際理解、国際貢献】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 肥沼の生き方や信条について話し合うことを通して、国際貢献のあり方に対する考えを深めている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 肥沼の生涯を貫く信条を、これからの自分の人生にどのように取り込むことができるか、考えを深めている。
	<b>35 語りかける目</b> 「気高く生きる」 【D よりよく生きる喜び】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 人間として気高く生きることについて、少女の心情を理解しながら考えを深めている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 少女の目が語りかけ、今も語り続けていることとは何かを考え、人間として生きることについて、少女の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。

令和8年度 教科 道徳 第3学年 評価規準

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
4月③	1 自分の思い・相手の思い 「寛容の心をもって、異質な他者とも共生しよう」 【B 相互理解、寛容】	【多面的・多角的に考える】 キルがとった行動に対するその行動の是非や難しさを踏まえ、なぜキリとキラキラでは相互理解ができたのかと、その理由を多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 自分の経験を通して、相互理解が十分でなかったできごとなどを振り返りながら、本時の学びと関連づけている。
	2 藤井聡太の学び方 「自ら進化できる人」 【A 向上心、個性の伸長】	【多面的・多角的に考える】 他者の意見を聞き、自ら進化できる人とそうでない人の特徴や違いについて新たな考えを見つけている。 【自分ごととして考える】 杉本さんの接し方や藤井さんの学び方を知り、自ら進化できる人になりたいという気持ちをもつとともに、そのために自分に必要な力は何かを考えている。
5月③	3 僕は友達を裏切ったのか？ 「真の友情」 【B 友情、信頼】	【多面的・多角的に考える】 友情について、登場人物の心情を理解しながら、同じ行動でも、見方や基準によって判断が分かれることがあり、それを認めることの大切さを考えている。 【自分ごととして考える】 真の友情を培っていくうえで自分にとって何が必要なか、何を補っていかなければならないかを、自らの経験と重ねて考えを深めていくことで自分ごととして捉えている。
5月③	4 いのちの花プロジェクト 「生命の尊厳」 【D 生命の尊さ】	【多面的・多角的に考える】 殺処分される愛玩動物の問題を通して、生命の尊さ、命の有限性、連続性などの視点を踏まえ、あらゆる命の価値について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分自身が愛玩動物といかに関わるかを考えることから、命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の思いをもち、生命を敬おうとする思いを深めている。
	5 卒業文集最後の二行 「いじめを許さない心」 【C 公正、公平、社会正義】	【多面的・多角的に考える】 クラスメイトの考えや「私」の後悔を、自分の考えと比較しながら、差別や偏見のない社会の実現について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 現在も「私」を苛む心の葛藤を捉え、何十年たっても傷が癒えないこと、それは丁子さんのほうがより深刻であることを理解し、いじめについて自らの経験と重ねて考えを深めている。
6月④	6 あなたは顔で差別をしますか 「互いの個性や立場の尊重」 【B 相互理解、寛容】	【多面的・多角的に考える】 相互理解や寛容の心が、差別や偏見のない社会を築くために大切なことだと考える藤井さんの生き方から、差別や偏見をなくすために必要な「知ることの大切さ」などを様々な視点から考えている。 【自分ごととして考える】 差別や偏見のない社会を築くためには、相互理解や寛容の精神が大切だということを、自らの経験を振り返って深く考えている。
	7 昨日より今日、今日よりも明日 「新しいものを生み出すのに大切な心とは」 【A 真理の探究、創造】	【多面的・多角的に考える】 岸田氏がバルボ氏から学んだことを、多面的・多角的に捉え、それぞれの学びの関係性について考え、岸田氏に与えた影響や、岸田氏の成長について思いをめぐらせ深く考えている。 【自分ごととして考える】 岸田氏の料理を創造する姿勢を通して、生徒自身の心に響いたことを考え、その理由に自らの経験や生き方が関係していることを自覚し、それを言語化することで、道徳的価値の理解を深めている。

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
6月④	8 早起縄 「地域社会の一員として」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	【多面的・多角的に考える】 郷土の伝統や文化のよさについて、多面的・多角的に考え、自分たちの地域の伝統や文化への関わり方をそれぞれの立場で考え、多様な関わり方があることを学び合っている。 【自分ごととして考える】 地域社会と自分との関わりの中で、郷土や伝統文化の大切さについて考え、自分が関わっている地域の伝統や文化についての思いを振り返り深めている。
7月②	9 父のひと言 「責任を全うする」 【A 自主、自律、自由と責任】	【多面的・多角的に考える】 責任をもつことの大切さについて、様々な道徳的価値とのつながりを踏まえながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 責任をもつことの大切さについて、自分との関わりの中で考えを深めている。
	10 無限の道 「芸から学んだ人生」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	【多面的・多角的に考える】 他の人の考えや筆者の生き方を自分の考えと比較しながら、伝統文化を大切に継承していく生き方の苦しさ大切さについて深めている。 【自分ごととして考える】 筆者の葛藤を共感的に捉えながら、今後の伝統文化をどのように見ていこうとするのかを自分の言葉で表現している。
9月③	11 テーブルの卵焼き 「家族の絆」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	【多面的・多角的に考える】 自分と家族とのよりよい関係について、春菜の思いや大野さんのメッセージ、クラスメイトの考えなどから考えを深めている。 【自分ごととして考える】 家族を大切に生活することについて、春菜の心情を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。
9月③	12 歩きスマホをどうするか 「調和と安全」 【A 節度、節制】	【多面的・多角的に考える】 歩きスマホの問題の本質は何かを考え、スマホの特性やマナーとの違いを考えながら、他者への影響や行為の結果を予測し、安全で調和のある生活を送る必要性について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 歩きスマホを例に、望ましい生活習慣について自分なりに考え、自分自身の生活習慣と関連づけて安全で調和のある生活を送ることの意味を考えている。
	13 二通の手紙 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	【多面的・多角的に考える】 きまりや法の意義について、話し合いを通して考えを深めている。 【自分ごととして考える】 元さんの言動を踏まえ、遵法について自らの経験と重ねて考えを深め、自分の言葉でまとめ、記述している。
10月④	14 償い 「人間としての誇り」 【D よりよく生きる喜び】	【多面的・多角的に考える】 罪と正面から向き合い贖罪のために生き続けるゆうちゃんと、理不尽に愛する人を奪われてなお、許しを与えた奥さん、それぞれの生き方の気高さを理解している。 【自分ごととして考える】 ゆうちゃんの誠実な生き方と、それによって時間をかけて心が変わっていく奥さん。二人の人間としてのあり方に、そういう人に自分もなりたいたいと心が動かされている。
	15 美佐の進路 「理想の友情とは」 【B 友情、信頼】	【多面的・多角的に考える】 美佐の進路選択の可能性を多面的に検討し、悩む美佐に寄り添う親友の心情を捉え、高め合う友情を築くために大切なことについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 進路選択に悩む美佐の気持ちを共感的に捉え、お互いを高め合える友情のよさに気づき、理想の友達関係を築こうとする意欲を高めている。
10月④	16 平和をつなぐ 「つながり合って生きる」 【C 社会参画、公共の精神】	【多面的・多角的に考える】 他の人と意見交流することを通して、平和な社会づくりに参画し、連帯することについての考えを深めている。 【自分ごととして考える】 平和な社会づくりに参画し、連帯することの大切さと難しさについて考えを深め、今後の日々の生活をよりよくしていこうとしている。

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
	17 変わりゆく地球 「未来も地球とともに」 【D 自然愛護】	<p>【多面的・多角的に考える】 意見を交流させる中で自分とは異なる視点や価値観に出会い、そうした考えをしっかりと受け止めて、地球環境問題についての理解を深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】 地球環境問題と自分とのつながりについて、クラスメイトの考えも参考にしながら具体的に捉え、地球とともに生きるために何をしようと思うか、考えを深めている。</p>
11月④	18 校長先生の模擬面接 「礼儀の意義」 【B 礼儀】	<p>【多面的・多角的に考える】 ルール、マナー、エチケットの相違点と共通点を話し合い、時と場に応じた礼儀の大切さについて、考えを広げている。</p> <p>【自分ごととして考える】 時と場に応じた適切な言動について、自らの経験と重ねて考えを深めている。</p>
	19 カーテンの向こう 「よりよく生きる」 【D よりよく生きる喜び】	<p>【多面的・多角的に考える】 ヤコブの行動について様々な意見を聞き、誇りをもてる生き方について自分自身の考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】 ヤコブの生き方を捉え直して「私」の行動を考える中から、自分自身の誇りをもてる生き方について考えている。</p>
11月④	20 専門家であること 「ともに働く」 【C 勤労】	<p>【多面的・多角的に考える】 本教材を通して考え合う中で、自他の職場体験学習を、改めてこれまでと違う視点で見つめ直し、過去の一面的な勤労観を脱して、多面的・多角的に考えている。</p> <p>【自分ごととして考える】 本教材で描かれた場面を参考に、専門性の具体像をつかんでいる。また、そのことが自分の将来とのつながりを考える機会として捉えられている。</p>
12月③	21 若者議会 「みんなの一員、社会の一員」 【C 社会参画、公共の精神】	<p>【多面的・多角的に考える】 学校外の活動だけでなく、身近な委員会活動なども、社会参画の一つのかたちであることに気づいている。</p> <p>【自分ごととして考える】 社会参画を、生徒会活動や学校行事、学級での自分の役割や係活動に置きかえて考え、積極的に参加することの大切さに気づいている。</p>
	22 ひび割れ壺 「自分らしい生き方」 【A 向上心、個性の伸長】	<p>【多面的・多角的に考える】 自他の短所や欠点をリフレーミングする活動を通して、「自分らしさ」を見つめ直し、自分らしく生きることについて考えを深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】 自分らしく生きるために大切にすべきことについて、ひび割れ壺の悩む気持ちを共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。</p>
	23 あふれる愛 「世界平和と人類の発展」 【C 国際理解、国際貢献】	<p>【多面的・多角的に考える】 他の人の意見を共感しながら聞き、他の人の意見と自分の意見を比較して、自分の意見との違いを理解しながら、マザー＝テレサの生き方から学んだことを広げ、深めている。</p> <p>【自分ごととして考える】 マザー＝テレサの生き方から学んだことを、自分の今後のあり方や行いに結びつけて考えを深めている。</p>
1月③	24 抗議する選手たち 「差別や偏見を許さない心」 【C 公正、公平、社会正義】	<p>【多面的・多角的に考える】 話し合いの中で、他の人の意見と自分の考えを比較しながら、自分の考えをより深めようとしている。</p> <p>【自分ごととして考える】 教材を通して、日常生活での「正しいとわかっていても行動に移せない経験」を想起し、その原因と改善の方向性を探ろうとしている。</p>

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
	25 サルも人も愛した 写真家 「自然との共存」 【D 自然愛護】	【多面的・多角的に考える】 自分たちの生活を守るとも野生動物の命を守るとも大切であるということについて、松岡さんの心情を理解し、村人たちの背景も踏まえて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 サルを愛し、自然との共存を願っている松岡さんの葛藤を共感的に捉え、自分だったらどうするかという視点で考えを深めている。
2月④	26 家族の思いと意思 表示カード 「かけがえのない生命の 尊重」 【D 生命の尊さ】	【多面的・多角的に考える】 自分とは異なる人の意見に耳を傾け、その理由を理解することで、自分の死生観を問い直し、生命の尊さについての考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分だったら意思表示カードにどんな意思を示すかを考えることから、かけがえのない生命への思いを深めている。
	27 片足のアルペンス キーヤー・三澤拓 「目標に向かう強い意 志」 【A 希望と勇気、克己と強 い意志】	【多面的・多角的に考える】 夢の実現に向けて挑戦し続ける三澤さんの原動力となっているものについて、意見交流や話し合いを通して多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 自分の夢や目標を実現するために、これから取り組みたいことについて考えを深めている。
2月④	28 足袋の季節 「思いやりの心、人間 愛」 【B 思いやり、感謝】	【多面的・多角的に考える】 「思いやり」について、その場で目に見えるものだけでなく様々なかたちの思いやりがあること、人は「思いやり」で支えられて生きていることなどを、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。
3月②	29 旅立ちの日に 「集団の一員として」 【C よりよい学校生活、集 団生活の充実】	【多面的・多角的に考える】 卒業式に関係する様々な人の立場に立って考えることで、3年生として卒業式にどのように臨むとよいか、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 卒業式は、誰のために、なんのためにあるのかについて、「僕」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えている。
	30 もう一つの時間 「自然と自己との関わ り」 【D 感動、畏敬の念】	【多面的・多角的に考える】 人間と自然、自分と自然との関わりについて筆者やクラスメイトの考えを共感的に捉え、多面的・多角的に考えを深めている。【自分ごととして考える】 悠久の自然を人間の力が及ばない存在として認識し、人間としてどう生きるかについて、自らの感覚や経験と重ねて考えを深めている。
補充教材	31 駐車場係として 「自分にできること」 【A 自主、自律、自由と責 任】	【多面的・多角的に考える】 自分の役割を誠実に果たすことの大切さについて、今自分がおかれている状況や他者への影響という視点から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分の役割を誠実に果たすことについて、「僕」の葛藤を共感的に捉えながら、自らの経験と重ねて納得解を導き出している。
補充教材	32 憧れの消防団 「社会連帯の自覚」 【C 社会参画、公共の精 神】	【多面的・多角的に考える】 社会連帯の意義や価値について、様々な立場や場面から多面的・多角的に考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「僕」の心情を共感的に捉え、自分の体験と重ね合わせ、社会をよりよくするために自分なりの関わり方を見つけようと考えを深めている。

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	評価の視点
	<b>33 世界に誇る「BONSAI」</b> 「日本の伝統・文化の継承」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 盆栽を守り広めてきた先人の思いを捉え、時代の推移の中で伝統文化のよさについて考えを深めている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 興味をもって教材に向かい、日本の伝統や文化のよさや、自分がこれからどう向き合っていくかについて考えを深めている。
	<b>34 琵琶湖とともに</b> 「環境を守る」 【D 自然愛護】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 自然環境を守るためには、一人一人の意識の高さや行動だけでなく、県などの自治体との協働も大切であることに気づき、目の前の環境問題だけでなく、持続可能な活動にしていくことの必要性について考えている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 滋賀県の取り組み（MLGs）を、地域の環境問題を見直すヒントにして、自分にできることから始めようとする意識が芽生えている。
	<b>35 カムイモシリとアイヌモシリ</b> 「自然への畏敬」 【D 感動、畏敬の念】	<b>【多面的・多角的に考える】</b> 自然と人間の関係や自然とともに生きるための態度について、アイヌの人々の自然観と生き方を理解し、他の人の多様な意見と交流しながら考えを深めている。 <b>【自分ごととして考える】</b> 自然への畏敬の念をもって共存していくために大切にすべきことについて、自らの生活や将来の社会的活動に生かせるように、考えを深めている。